資料５

現在の状況

これからの生涯学習センターに求められる役割は、
誰が、どの様に運営し、果たすのか？

生涯学習センター	2,340 万円
生涯学習係	5,080 万円
合計	**7,420** 万円

現行の制度のもとでは、生涯学習センターが貸館を基本とした運営となることから、基本理念が求めるような、「小山市における生涯学習の推進の役割」を十分に果たせていない。

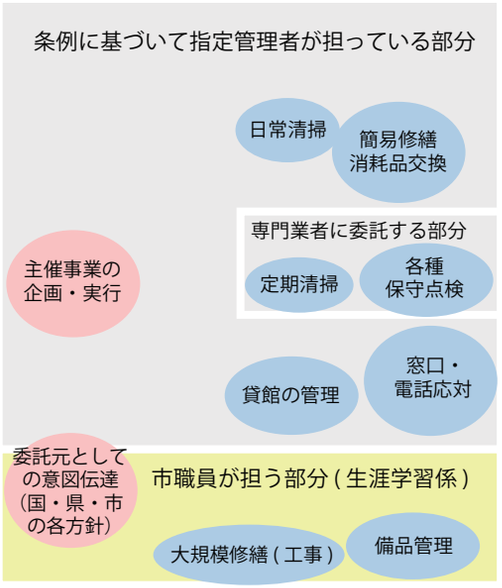
現状（令和４年度）

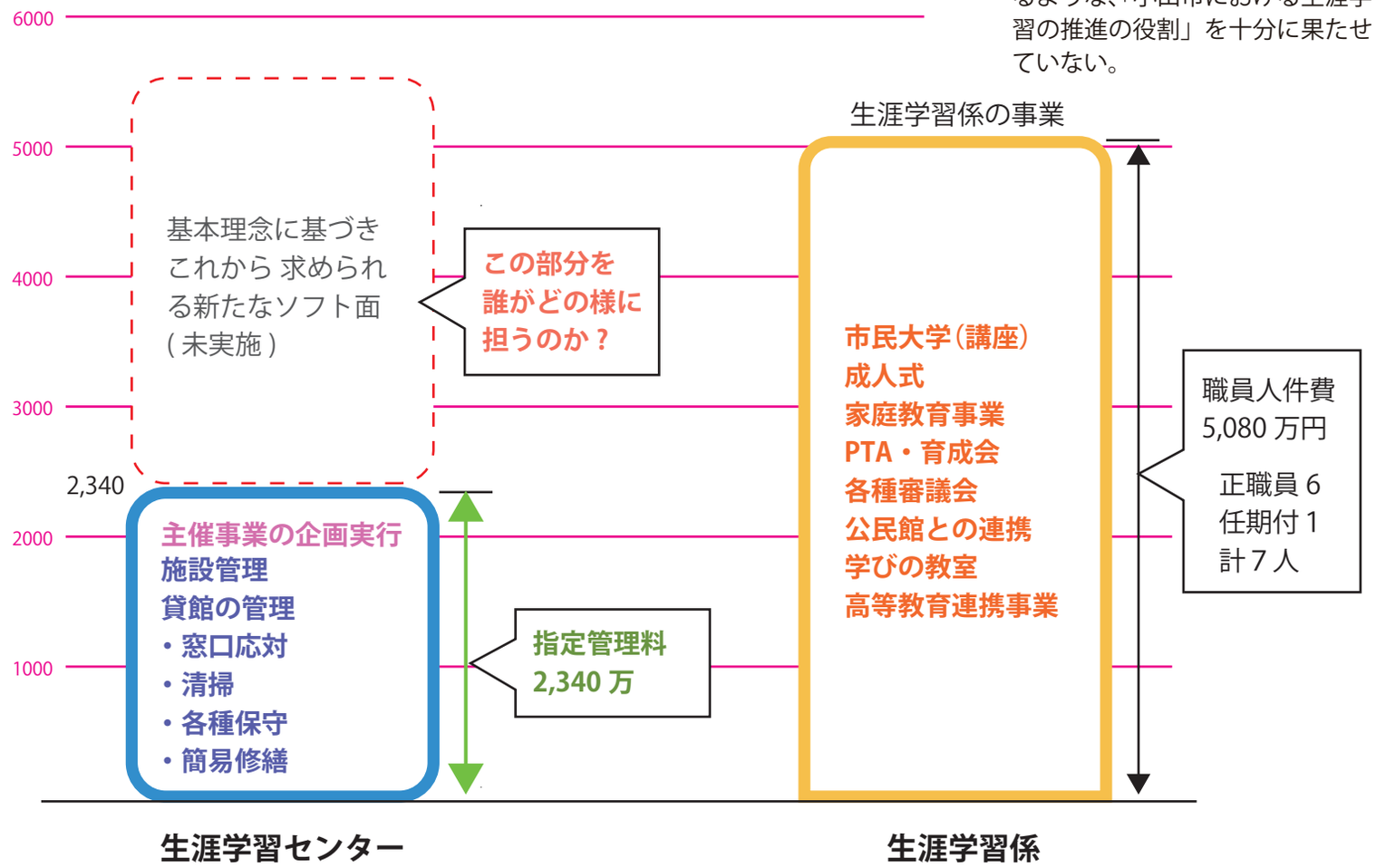
現在の仕様に基づいた指定管理者による運営

指定管理者制度に基づき、民間企業・ＮＰＯ等を含む団体に施設運営と事業実施を委ねている。

現行の制度のもとでは、生涯学習センターが貸館を基本とした運営となることから、基本理念が求めるような、「小山市における生涯学習の推進の役割」を十分に果たせていない。

小山市立生涯学習センター





いったん市に戻し、施設管理も含め 市職員がたずさわる形態
（その上で、今後を検討・実践する）

※＝正職員、任期付職員、会計年度任用職員。

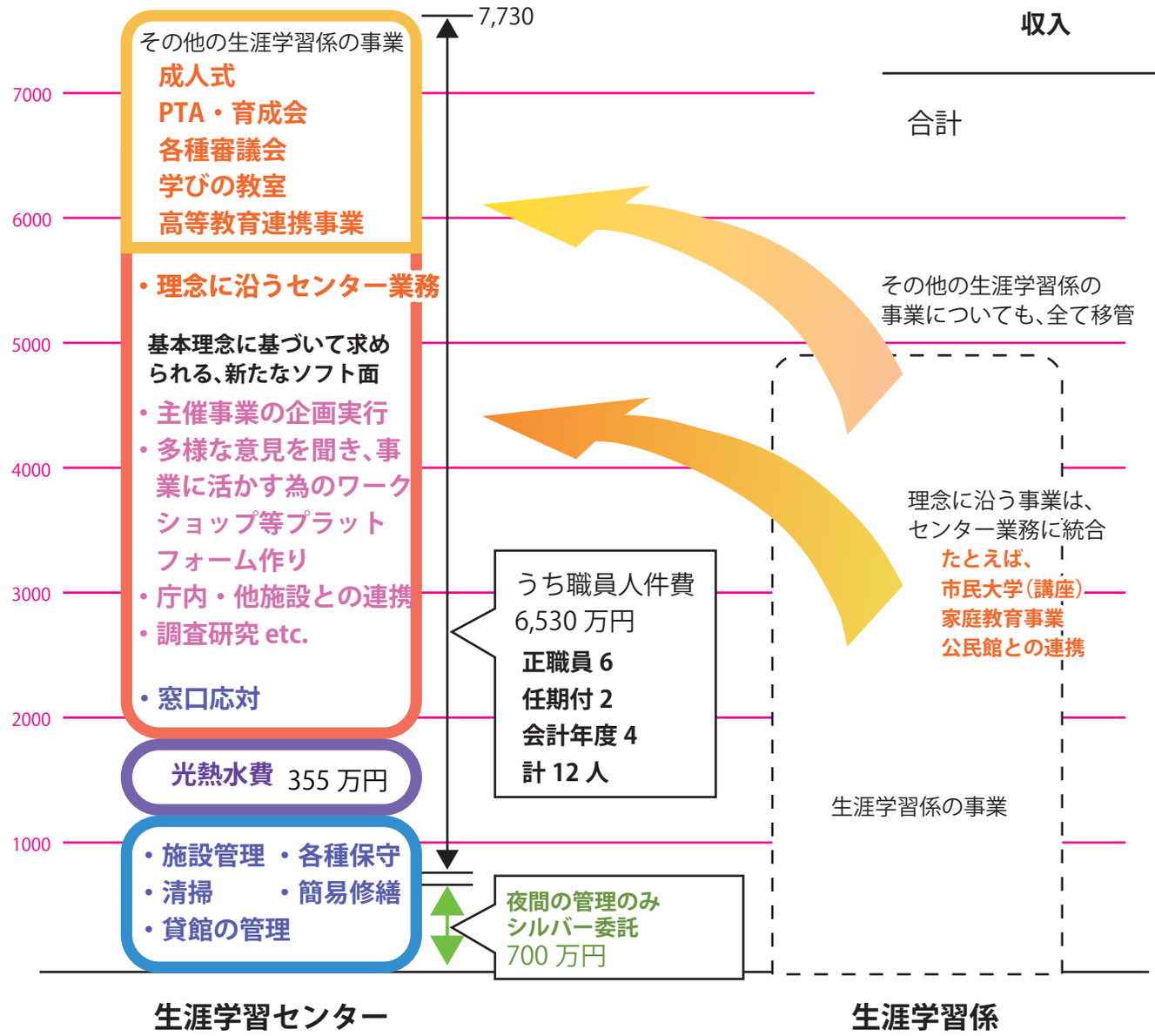
運営案

企画運営を職員が直接担い、試行期間として
（部分委託も導入しながら）５～１０年実践していく

小山市職員（※）による運営に、一部をシルバー人材センターによる業務委託を組み合わせる。

- ●事業担当と窓口・貸館の管理担当が、市職員であることで、運営上の課題や利用実態を把握することが容易となる。
- ●全員が常駐するため業務の平準化と館外業務や研修時を含めた安定的なシフト勤務が可能となる。

小山市立生涯学習センター



生涯学習係および

センター業務	7,730 万円
うち支出	**8,430 万円**
収入	**700 万円**
合計	**7,730** 万円